

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公表番号】特表2009-528568(P2009-528568A)
 【公表日】平成21年8月6日(2009.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報2009-031
 【出願番号】特願2008-557285(P2008-557285)
 【国際特許分類】

G 0 3 F 7/38 (2006.01)
 G 0 3 F 7/095 (2006.01)
 G 0 3 F 7/039 (2006.01)
 G 0 3 F 7/00 (2006.01)
 G 0 3 F 7/004 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/38 5 0 1
 G 0 3 F 7/095
 G 0 3 F 7/039
 G 0 3 F 7/00 5 0 3
 G 0 3 F 7/004 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月10日(2010.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 基板上に第1層を用意する工程、前記第1層は、第1高分子バインダー内に分散された第1輻射線吸収化合物を含む、

B) 前記第1層上に第2層を用意する工程、前記第2層は、第2高分子バインダー内に分散された第2輻射線吸収化合物を含む、

C) 前記第1層及び第2層を乾燥させた後、前記乾燥された第1層及び第2層からの湿分の除去を抑制する条件下で少なくとも4時間、約40 ~ 約90 で、前記第1層及び第2層を熱処理する工程

を含んで成るポジ型画像形成性要素を提供する方法。

【請求項2】

前記熱処理中、前記画像形成性要素は、該前駆体からの湿分除去に対する効果的なバリアを形成するために、不透水性シート材料内に包まれるか若しくは収容され、又は該画像形成性要素の前記熱処理が、相対湿度が少なくとも25%に制御されている環境内で実施される請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記熱処理中、前記不透水性シート材料が、前記画像形成性要素の端部の周りでシールされている請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記第1高分子バインダーが、1種又は2種以上の(メタ)アクリルアミド、(メタ)アクリロニトリル、N置換型環状イミド、スチレン誘導体、及び、尿素基を含有するペンダント基を有するモノマーから誘導された反復単位を含む請求項1~3のいずれか一項に記載

の方法。

【請求項 5】

D) 画像形成された領域と非画像形成領域とを提供するために、請求項 1 によって提供された画像形成性要素を像様露光する工程、そして、

E) 該画像形成された領域だけを除去するために、該像様露光された画像形成性要素と水性現像剤とを接触させる工程

をさらに含んで成る請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。